



病院食の試食会を行いました！

～in NST リンクナースミーティング～

平成29年11月NSTリンクナースミーティングで、当院の食事形態（きざみ、ミキサー、ソフト）の食感や味、どんな補食を取り扱っているのか理解する事を目的として試食会を開催しました



ミキサーとかソフト食って、意外といけるやん！？

“ミキサーやソフトのおかずってなんか気持ち悪い！！おいしくなさそう～！”と感じている方が多かったのですが、そう、ミキサーとソフト食って**意外にも美味しいんです！**



▲勉強会には(株)マルハニチロにも協力いただきソフト食のお弁当も用意しました

↓↓他にもこんな発見が！↓↓

- きざみ食は口の中でうまくまとまらずバラバラになり、意外と食べにくい印象だった
- ミキサー食やソフト食は食べやすく、美味しく味付けされている！ミキサー粥も口の中でべたつかず安心して食べられることが分かった
- 濃厚流動食は甘いタイプのもが多いけど、新しく採用されたメイバランスミニのブルーベリー味とか白桃味は甘さ控えめで甘い物が苦手な人にも飲みやすいね などなど。。



▲ エブリッチ(上段)
ソフト食[鶏の味噌煮](中段)
ミキサー食・ミキサー粥(左下段)
きざみ食[三色丼](右下段) など

好評につき、機会があればぜひ次回参加してみてください☆

NSTではこんな事を行っています

<NST対象者基準>

1. 喫食状況によるもの

①絶食 ②摂食不良 ③経腸栄養 ④静脈栄養

2. 消化器症状によるもの

①嘔気・嘔吐 ②イレウス ③下痢・便秘

3. その他

①体重減少・増加著明 ②低Alb血症 ③これ以外の気になる方

NST 結成から約2年半、「NST ってどんな活動してるん？」といった声も頂くので、平成29年度 NST 通信の締めくくりに NST の活動についておさらいします

NST は病棟で栄養上気になる方について話し合いを行っています！

他にも、

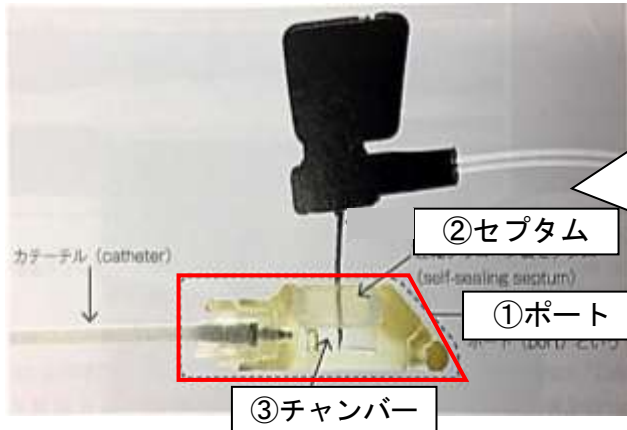
- ・NST対象者の栄養状態の把握(食事摂取量・体重変化など)
- ・NSTミーティング(毎週月曜日)
- ・NSTリンクナースミーティング(第3金曜日)
- ・栄養についての広報活動や勉強会 など幅広く活動しています

何か栄養でお困りのことがあれば ぜひNSTまでご相談ください！

▼CVポートについて理解しよう！～続編～

CVポートって??

◆CVポートは中心静脈カテーテルの一種、完全皮下埋め込み型ポートといわれるもの



CVポートの構造は、円盤状のタンク（「①ポート」）と薬剤を血管内に注入するカテーテルとの2つポートの中心部、シリコンゴムで構成されている「②セプタム」を専用の針（ヒューバー針）で穿刺、針の先端を「③チャンバー」に到達させ、カテーテルを通して中心静脈内に薬液を注入する

- ・カテーテルは鎖骨下静脈、内頸静脈など血流量の多い上大静脈に挿入
- ・ポート部分は

(a) 前胸部 or (b) 上腕 [PICC]

に埋め込むことが多い

CVポートのメリットとデメリット??

メリット

- ・セプタムへの穿刺が容易で血管確保のための刺し直しが無い
- ・カテーテルが皮下に隠れるので目立たず、使用しない時は体外露出部分がないためQOLの向上が望める
- ・適切な管理下では感染率が低く長期使用が可能

デメリット

- ・正しい管理を行わなければ感染を引き起こす
- ・カテーテル抜去には小さな外科的処置（切開・操作）が必要であるため、合併症のリスクがある

以上を踏まえてCVポートは次のことに注意しましょう！

！CVポート使用上の注意点！

- ◇ 専用の針：ヒューバー針を必ず使用する
- ◇ 使用しない際はヘパリンロック
- ◇ 感染や閉塞しないように手技を遵守する
- ◇ 毎回 逆血を確認する

！最も重要なのは、
充分な感染対策と衛生管理！

詳しいCVポートの使用方法は『【治療の実践】CVポート使用方法』<http://chemo-support.jp/actual-treatment/usage-cvport.html> 参照

「経腸栄養剤はゆっくり注入する」、
だいが当院でも浸透してきました。
たまにバッグタイプの栄養剤について、
注入しているつもりが止まっていたり
落ちる速度が変わっている事がある
そうです。帳尻合わせの為に、
一度に大量に栄養剤を落とすことは、
下痢やイレウスの原因になり非常に
危険です。
静脈経腸栄養ガイドラインでは、
開封後、8時間以上になると細菌が
勢いよく繁殖すると言われており、
時間がかかって全部注入出来ないの
であれば、その経腸栄養剤は捨てる
方が安全です。
また、ゆっくりゆっくり注入している
のであれば、体位変換時やオムツ
交換時、ベッドから車いすへの移乗
時など、経腸栄養剤の注入を止める
必要はありません。
注入速度は砂漠の砂に水がゆっくり
と吸収されるようなイメージで落と
すのがベストです。
『ラストスパート』はせず、その人の
ペースに合わせた注入を心がけま
しょう。

ーラストスパートの危険ー

栄養コラム

経腸栄養のすすめ